



世界税関機構 (World Customs Organization)
事務総局長

御厨 邦雄

日本税関発足 150 周年にあたり、心よりお祝いを申し上げます。

世界の税関は、国境における「税」と「関」という共通課題に対し、世界税関機構 (WCO) を中心に一致団結して対応しています。WCO のビジョンである Borders divide, Customs connect (国境があっても繋がる税関) という言葉は「税関ファミリー」とも呼ばれる国際的な税関コミュニティを体現しています。その中で、日本税関は、国際標準設定や国際協力の分野で多大な貢献をしてきました。税関手続の電子化や通関時間の短縮での先進的な取組で、各国税関の尊敬を集めています。

日本税関職員はブリュッセルにある WCO 本部で議論をリードしたり、WCO による途上国支援に加わり、その国のビジネス環境の改善や日本を含む各国企業の進出にも貢献しています。更に、密輸取締りのための WCO を通じた各国との情報交換でも大きな成果を上げています。

昭和 39 (1964) 年に日本の WCO 加盟後、国際社会は大きく変化してきました。今後、税関を巡る環境は絶えず変化していくでしょう。グローバルな課題にはグローバルな対応が、変化には素早く、柔軟に対応することが必要です。歴史ある日本税関が、次世代の育成を通じ、税関ファミリーの中で強いリーダーシップを発揮することを期待しています。